



2学期のはじめにあたって

あっという間の23日間。夏休みはいつでも早足で通り過ぎていってしまうものですね。さて、今日から2学期が始まりましたが、宿題や学習の準備などご家庭ではたいへんご支援をいただいたことと思います。また、事故やけがなどの報告もなく、健康で安全に過ごしていただいたことにつきましても、重ねて感謝申し上げます。

さて、毎週土日の後にやってくる月曜日に関連して、日本では「サザエさん症候群」、世界的には「ブルーマンデー症候群」と呼ばれる症例があります。どちらも、楽しい週末が終わり次の日から仕事や学校が始まるのが不安であるという精神状態を表しています。月曜日になかなか調子が出ないのは、老若男女、そして万国共通のことのようです。以前ある講演会で「円満なご家庭のお子さんは、月曜日はすこし眠そうに見えるもの」と聞いたことがあります。確かに、学校には学校のよさがありますが、居心地のよいご家庭であれば、ずっといたいと思うのが自然かもしれません。

同様の理屈で、友達と会えるのはうれしいとしても、やはり休みが終わってしまうのはとても寂しいものです。自分の経験では、某局のチャリティ番組を観ると、夏の終わりを自覚し、見て見ぬふりをしていた宿題の存在に気づき、それは暗い気持ちになったものです。このような精神状態は、そのうち「24時間テレビ症候群」などと呼ばれるかもしれません。

今年は、夏休み明けが月曜日です。学校としては、子どもたちを温かく迎え、あせらずゆっくりとリズムに乗れるようにしたいと考えています。2学期もぜひよろしくお願いいたします。

修学旅行と校外学習

報道のとおり、群馬県では感染症の警戒度が「2」に引き上げられました。2学期は運動会、修学旅行、校外学習をはじめ、子どもたちが楽しみにしている行事が数多く予定されています。笠小では、しっかりと感染症対策をしながら、できる活動をしっかり進めていきたいと考えています。

修学旅行、林間学校、校外学習などはすべて2学期に行うことになっていますが、このところの感染拡大によって、各学年とも内容を再検討しています。詳細につきましては、各学年から改めて連絡いたします。

県民の皆様へ

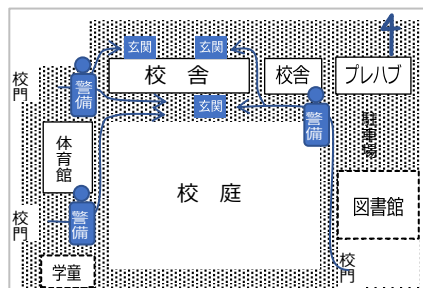
警戒度 2



市中感染が広がりつつあります
十分な注意を

登校時の警備を強化しています

7月下旬より登校時の警備を強化し、児童が登校し始める7時50分頃から8時20分頃までの間、校舎への入口付近3カ所に職員を配置し、来校する保護者様や外部からの訪問者にお声かけをしています。担任が出勤して教室に向かうまでの時間は、教室には子どもたちだけの状態になってしまうこともありますので、訪問された方にはお名前と用件を承っています。ご面倒でもご協力をお願いいたします。



6の6担任の交代と学習指導員

本日配付の別紙通知にてお知らせしましたが、6年6組担任の長谷川晴一教諭が病気のため、8月23日付で退職いたしました。突然の担任交代で子どもたち、保護者様にはご心配をおかけしますが、後任には現在本校に勤務している木村雅代教諭が着任いたしました。指導する教科は、6年生4クラスの社会と6組の算数、体育、道徳、学活、総合です。なお、長谷川教諭が担当していた3年5組の図工は、6年の生形裕子教諭が担当します。

また、学習指導員として本日より山中沙紀さんが、8月31日より岩井沙采（さあや）さんが勤務することになりました。山中さんは主に4年生と6年生、岩井さんは1年生と2年生の学習支援を行う予定です。